

特 100
578

~~274
913~~



始



特 100

578

How to Prevail.

聖潔集
第十四

勝利の秘訣

イ、エ、キルボルン編

東洋宣教會發行

~~274
710~~

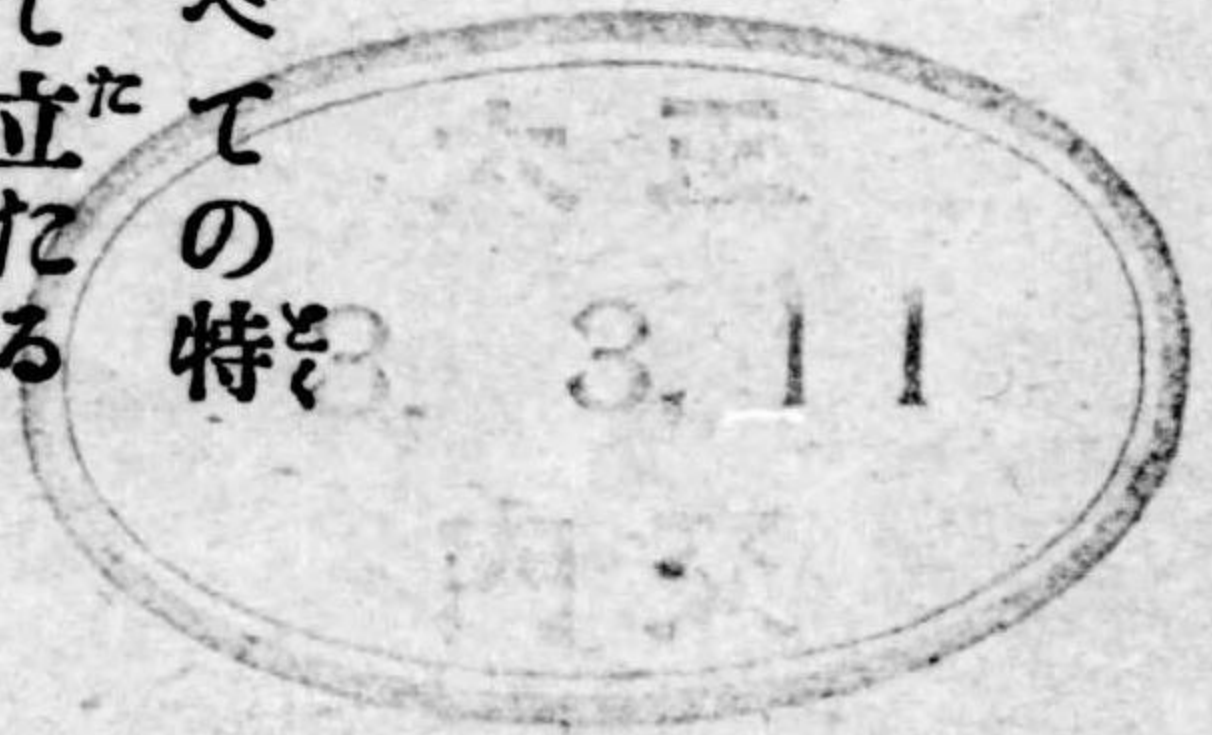
特 100
578

勝利の秘訣

今は聖國にある一老傳道者が
一青年傳道者に與へし書

我等の主エスキリストの、寶血を以て買ひ上げ給ひし凡べての特
 權が、己に克ち、肉に死に、救世主の十字架の福音を負ふて立たる
 る我が愛する兄弟の上に、常に又た永遠にあらん事を祈ります。

先達つての御手紙の御質問中に『もし私が密室に於て神の聖前に
 出で、謙りて、倦むこと無く、忠實に罪人の爲めに祈り、彼等の罪
 を懺悔し、之れが爲めに哀しむことを致し候へば、私の傳道に今一
 層の能力を増し加へ申すべく候や。又た篤き信仰を以て此の事を努
 め候へばそれに比例して多くの靈魂が救はるゝを得申候哉。之れ等



の事に就て何卒明晰なる御教示を仰ぎ度願上候。慥かる質問を試み候は今後如何にもして、最も聖旨に適ふ奉仕を致し度きものとの存念の他に出でざることに候」云々、とありますから之れに對して取不敢左にお答へを致します。

開闢以來神の教會に於て陰府をも動かす流の能力ありし戰士は、悉く密室の人でありました。モーセは神が「我を阻むる勿れ、我かれらを滅ぼしその名を天が下より抹し去り」云々、と仰せられられた時にも、神の此のみ怒りを遠げることのできる能力を與へられるまで聖前に懇願致しました。然し、神は彼れが信仰に由つて祈り出す祈禱を聽くまでは、彼等に對する刑罰を封じ給ふことはできませんでした。茲に至つてモーセは信仰の手を張り擴げ、イスラエル六千萬の民を抱いて、普通ならぬ苦痛を以て祈りに祈り遂に神の聖力に

與り得ました。又たエリヤは能力ある祈禱を倦まずして献げました事に由つて、天をも閉ぢ又た之れを開くことを得ました。然し豫言者や使徒達の間から斯様な例を擧げて居りますれば、惡魔は巧に貴下の心に囁いて、彼等は特に聖い人であつたからさうであつたらうが、私の様なものは逆でも追つ付かぬといふ風なことを思はせるかも知れませぬから少しく方面を變へて申しますが、先づバツクスタ一をご覧なさい。彼れは祈禱の呼吸に由つて、書齋の壁を汚したといふ程の祈禱の人で、聖靈に膏灌がれてからは、愈々河々の如くに活ける水をキツダー寺院に灌いだ事であります。幾百の靈魂は之れに由つて、主に歸しました。ルーテルと彼れの同業者等は、神を動かす程の能力ある祈禱の人でありましたから、舊弊を打ち破つて、遂に國民を十字架の下に降伏せしめました。又たスコットランド

の全民を強き信仰の腕に抱いて祈りました。ジョンノックスの祈禱は、暴君メリーをも戦慄させました。更らに又たホイットフィールドはその清浄な心から祈り出でました、永い間の祈禱の結果、臙がて出で行いて戦ひました時に、一日の中に幾千の靈魂を滅亡の危険から救ひ出だしました。ウエスレーも、ブラムウエルも、ストーナ―も、スミスも、カルボツソーも祈禱の人でありましたが、孰れも幾千といふ人々を救に導きました。又た、その吐く一息も祈禱であつたと云はれて居るアン、カットラーとフレツチャー夫人に導かれた靈魂は至る所にありました。一千八百廿年から廿一年にかけて、祈つて居つた朴訥な聖い少數の信者達が用ひられて、壹萬七千の魂が救はれました。ジョン、ヲクストビーは平凡なる身を以て罪人の爲めに泣いて、呻いて、斷食して祈つてから、信仰の手に力を籠め

て彼等を幾時間か主の贖の中に投じ、臙がて立つて説教致しました。が、その時の彼れの舌端には火が燃へて居るかど怪まる、計りの力があつて、幾百のものが救を受けました。然るに誠に残念なことであります。今日に於ては此の種類の救靈的教役者が極めて少いのであります。私共の現狀は如何でせうか。か様に申しましても私自身を省みまする時に忸怩たらざるを得ません。私の身邊にある一切のものが私の力なき事を語つて居ります。

恚んなこと計り申し上げて居りましては局がありませんから序は之れに止めて置きますが、茲で貴下の御承認を得たい事は、貴下は神の恵に由つて傲慢の心、金を愛する心、人を怖れる心、殊に團體に偏する心から救はれて居る、と仰せられることができるでありませんか。もし名を擧げる爲め、會員を増やす爲め、或は勳を誇る

爲めに、罪人の救はれる事を欲んでゐなされるものとすれば、貴下の
 靈魂は誠に哀れな状態にある者と申さなければなりません。貴下は
 他所の教會で魂が救はれたと聴いても喜ぶ事ができませんか。できれ
 ば此の上も無い幸福であります。恚かる人こそ最上の御用の中でも
 殊に重要な密室の御用に當り得るのであります。既に聖くせられて
 ゐなされる貴下の心の中に、滅ぶる靈魂に對ふ重荷を感じて此の爲め
 ならばどのやうな事でも力を盡さふ、よしそれが神を瀆して居る世
 間の人や、睡つて居る教會から見ても馬鹿氣な様な事であつても、靈
 魂の救はれる爲とあれば進んでごんな御用にでも當らふとの覺悟があ
 つてこそ密室の御用に當り得るのであります。これが無くては雇
 はれたる牧羊者ど何の異なる所もありません。私は貴下が、現に住
 まつて居なされるその町を隅々残る所無く歴巡つて詳細に、又た明か

に、その行はれて居る罪惡に眼を注めらるゝ事を欲みます。ピーヤ
 ホールや、劇場や、活動寫眞や、酒屋や、貸座敷に怎んな罪惡が行
 はれて居りますか？ア、幾多の人々の心の荒れすさんで居ることを
 見、彼れ等の運命を思ふて貴下の心は刺られる様な思が致しますま
 いか。安息日も守らずに店を開いて居る頑固な人々をご覽なさい。醜
 業を事とするあの幾多の婦人達と邪まなる彼等の樓主とを御覽なさ
 い。その貞操を汚がす者も、汚さしむる者も共々に炎々と永遠に燃
 ゆる火中に狂氣の如く走り行きつゝあるではありませんか。又た裏
 街を通過つて不潔な小路や小暗い物影を覗ふてご覽なさい。心を注
 めて家庭の中に如何ばかり罪が跋扈して居るかを御覽なさい。多
 くの病氣中最も惡性の病氣の原因が何所にあるかを考へてご覽なさ
 い。之れは醫師が研究することであると共貴下も心得てゐなければ

ばなりませぬ。オ、願はくは眼を開いて仔細にその實情をご覽なさい。あの白髪を頭に戴いて居る老人をご覽なさい。陰府への旅路に勞れ果て、髪は白きを増し加へました。躊躇めく足はとぼくと底無き穴へと辿つて居ります。現世の虚しき夢を見て居るあの眼はトロリとしてゐます。更らに彼等の子供や孫等をご覽なさい。恰度長い列車が水中に溺れるやうにそれからそれと滅びつゝあるではありませんか。ア、實に死と永遠の滅亡とは彼等を捉へやうとて待ち構へて居るのであります。更らに眼を轉じて狂水に心を蕩かされて踰越として千鳥足に歩んで居る飲酒人をご覽なさい。彼等は酒の爲めにその身を滅ぼしつゝあります。彼れ等は狂水に漂ふて神の審判の座へ押し流されてをります。又た、哀れなる然かも忌むべきあの澤山の娼妓をご覽なさい。彼等は天地を汚して居ります。幾多の人々を

腐敗せしめて居ります。彼等は彼等を犯す者と共に墓を、陰府を、満たしつゝあるではありませんか。ア、兄弟よ、私は貴下が眼を開いて、贖の血を軽んじてウカ、と世を過して居るかの千々萬々の罪人を見られんことを欲みます。彼れ等は神の聲に逆ひ、良心の叫びを踏み付けて居るではありませんか。彼等は彼等の爲めに祈る聖徒達の祈禱を犯して、敢てそれと相反する道に赴いて居るではありませんか。彼等は神の聖書を地獄路を辿る踏石として居るではありませんか。ア、頑固なる彼等をご覽なさい。彼等は身體と靈魂とを永遠の滅亡に陥し入れる爲めに一生懸命に力を盡して居ります。貴下は彼等罪人の實情が眼に映りましたか。彼れ等は滑り易い山の上に居ります。その山の麓は那方も地獄が取り巻いて居ります。貴下は彼等の危険が見えますか。ア、彼等の上を考へてご覽なさい。

十
彼等は如何ばかり神の聖名を辱かして居ることですか。如何ばかり救主の聖胸を刳ぐつて居ることですか。如何ばかり聖靈を憂へしめて居りますか。如何ばかり向上せんとする人類を亡ぼして居ることですか。又た如何ばかり多くの人々を燃ゆる火坑に投げ込んで居りますか。彼等は我も我もと押し合ひ糝合ひ人生の舞臺を去つて滅亡の中に驀進して居ります。眼を彼等に注ぎ度い。幾千の人は既にその途程を走り盡して今一足！一足の事で！！ア、危い！！今走せ行いて急遽引つ張り出さないならば、永遠に恢復のつかぬ地獄の火に落ち込んで仕舞ひます。あの火と硫黄の燃ゆる地獄、悲嘆、切齒の満てるあの地獄、救を求むる叫喚の聲の絶へざるあの地獄、ア、あの暗黒なる地獄！永遠に！そうです永遠に！！火の暴風の吹き捲くるあの地獄に陥ち込んで仕舞ひます。オ、兄弟！之れは感情でな

い、事實です、そのまゝです。貴下は神の與へ給ふた武器に由つて進み出で、此の民の救はれる爲めに神と相撲はれませぬか。靈魂の貴さを考へてご覧なさい。彼等が輕んじて居る主の血と主の御愛とを考へてご覧なさい。彼等が受くる滅亡が永遠のものであることを考へてご覧なさい。彼等が失ひつゝある天國の榮えは愈々輝きを増して居ることを考へてご覧なさい。彼等の感化は引いて幾百萬の生靈を同じ滅亡に導いて居ることを思ふてご覧なさい。彼等が救はれて父、子、聖靈の名に入れられたならば、如何ばかり神の聖名が崇められることでありませう。何卒、心を静めてよく考へてご覧なさい。彼等が罪の生涯を送る事に由つて多くの人々を後へに従へて地獄に馳せ行くことゝ、貴下の祈禱が答へられて聖靈のみ働きに由つて彼等が救はれ、驕がては他の人々をも救に導く神の器とせられる

といふ事とは、そこに天地と申しませうか雲泥と申しませうか、大した相違があるではありませんか。ゲツセマ子の主、カルバリの主を偲びなさい。あの血を以て灑がれたる十字架の恵の坐を考へてご覧なさい。主イエスは罪人の爲めに何をなし給ひましたか、今何をしてゐて下さいますか、又た何をなしてやり度いと思し召してゐ給ひますか。過ぎ來し方に於て彼等と同じ幾百萬の罪人が罪を悔ひ改め、罪を離れ、信仰に由つて主に絶つた時に主は如何なる事を彼等になし給ひましたか。之れ等の事をよく考へてご覧なさい。あの殺人罪を犯したマナセを神は如何に待ち給ひましたか。姦淫罪に陥つたダビデに、邪惡なりしマグダレナに、神を瀆したパンヤンに、無神論者のロチエスターに、その他幾百萬の飲酒人、盜賊、娼妓或は極惡人等に對して神は如何なる事を現世ながらになして下されたであり

ませうか。希くは貴下の靈魂が之れ等の事を思ふて痛みを覺え、同情に溶かされ、燃ゆる計りの熱愛に動かさるゝまでになつて戴き度いのであります。此の愛に燃え、愛に満たされたる心を以て密室に退き、主の前に彼等の罪を哀みなさい。斷腸の思ひを以て彼等の罪とその結果とを考へ、聖前に心を注ぎ出しなさい。彼等の罪は我が身の罪であると心得、彼等に代つて自分で罪を負ひ、今や亡びんとする彼等の現狀は自分の今の狀態であるかの様に思ふて彼等の爲めに其處でお祈りなさい。彼等と一つ軛を負はなければなりません。詳細に彼等の罪を懺悔なさい。たとへ憊くする事に由つて貴下の靈魂に傷を受くることがあつても、又たその名を擧げては恥かしいと思ふ様な罪でも一々聖前に申し上げなさい。モーセや、ダニエルや、エレミヤ、子ヘミヤ、パウロその他の諸聖の様に隠すこと無く繰り

返して認はしなさい。貴下が彼等の罪を認はし、その罪の爲めに哀しみをなしてゐなされる間、貴下は貴下の靈魂と彼等の罪とを贖の血に投じてゐなければなりません。又た救世主は貴下の欲求よりも遙かに優りて、彼等を救ひ度くてゐなされる事を心得てゐなくてはなりません。神は限り無き愛を以て彼等を救ひ度く欲んでゐ給ひます。されば救はうといふ心を神が起し給ふ様にと祈つてはなりません。私共が熱求するのはそれが私共の本分であるから祈るのであります。聖く篤き信仰から捧げる祈禱に、神はいつでも答へて下さるから祈るのであります。之れは理屈でなく事實です。聖書や教會歴史が到る處に之れを證明して居ります。事實、成功ある救靈の働は常に空室に於ける祈禱の奉仕に相俟つて居るものであることを見て、之れが理論でなく事實である事が解るでせう。兄弟よ、神の聖

前に罪人の爲めに懇禱なさい。モーセの如に懇禱なさい。彼れは神が罪あるイスラエルの民を斷ち切らうとしたまふた時に、神の約束、神の契約を提げて、振り上げられたる神の審判の聖手の下に立ち、繰り返し繰り返し只管に民の爲めに憐憫を懇願致しました。神は遂に『我をこゝむる勿れ』と仰せ給ひましたけれども、彼れは尙ほ信仰に由つて懇禱致しました。貴下もその如く懇禱しなければなりません。神の力に訴へ、神の愛に訴へ、神の憐憫に訴へ、『是となりアメンとなる』との聖約束に訴へて、只管懇禱しなければなりません。又た、主エスの御生涯、その死、その甦り、昇天、引いては天に於てなされつゝあるその禱告の故に彼等罪人の救はれん事を懇禱しなければなりません。オ、貴下の筋骨逞ましきその信仰の手を張り擴げて、彼等罪ある人々を抱いて血に沾はへる十字架に縛り付けな

ない。人生の短かい事と永遠の終局なきことを以て、速かに聖救の
 與へられん事を熱求しなければなりません。罪人の心に尙ほも深く
 立ち入つてその怖るべき状態を覗ひなさい。私は、貴下が喜んで居
 る、幸福であるといふ風の普通一遍のクリスチャンではなくて、主
 キリストと偕に苦い杯をも飲み干す程の方であつて戴き度い。然し
 之れ等の事は悉く信仰に由つてなすべきものであり、又た單へに神
 の聖榮の爲めになすべきであります。貴下が幾時間にも亘つて恁様
 に懇禱せられますなれば、如何なる教會をも揺り動かし、此の全土
 に活ける生命の水を送り出す秘密をそこに發見さるゝ事でありませ
 う。主キリストは「我を信するものは聖書に録し、如くその腹より
 活ける水川々となりて流れ出づべし」と仰せ給ひました。信じなさ
 い。信じて貴下の市に大洪水を送りなさい。貴下が赤誠籠めて熱禱

してゐなされる時に、單だ信する事をなさるならば、慥かに何か大な
 る結果が起るのであります。オ、今の世に尙は多くのモーセ、エレ
 ミヤ、パウロ等の起らん事を祈ります。
 親愛なる我が兄弟よ、私は貴下が時を移さず恁くの如き密室の奉
 仕に力を努すものとなられん事を欲みます。

常に貴下のものなる

靈魂を愛する某

二伸。貴下が此の密室の奉仕に力を致される様になりますれば、
 講壇の奉仕にも愈能力が加はり、説教の度毎に神の恵が豊かに降つ
 て参るやうになります。忍びてよく十字架を負ひ、聖名の爲めには
 その受くる辱をも心にとめませんならば、臙がて羊の大牧者が顯は

露光量違いの為重複撮影

274
713

十八
れ給ふ時に、貴下はその與へられたる多くの靈魂と偕に、主の聖前に立つ事ができる計りでなく、その備へられたる榮冠を授けられて、空の光輝の如くに耀き、星の如くなりて永遠に至らるゝ事でありませす。(但十二〇三參照)

露光量違いの為重複撮影

274
113

大正三年三月五日發行

東京府下谷橋本
印刷所 福音印刷合資會社
東京府下谷橋本
發行所 東洋宣教會出版部
東京府下谷橋本
印刷人 村岡平吉
東京府下谷橋本
發行人 シー、イー、カクマン
イー、エー、エルホルン
東京府下谷橋本

れ給ふ時に、貴下はその與へられたる多くの靈魂と偕に、主の聖前に立つ事ができる計りでなく、その備へられたる榮冠を授けられて、空の光輝の如くに耀き、星の如くなりて永遠に至らるゝ事でありませす。(但十二〇三參照)

終

